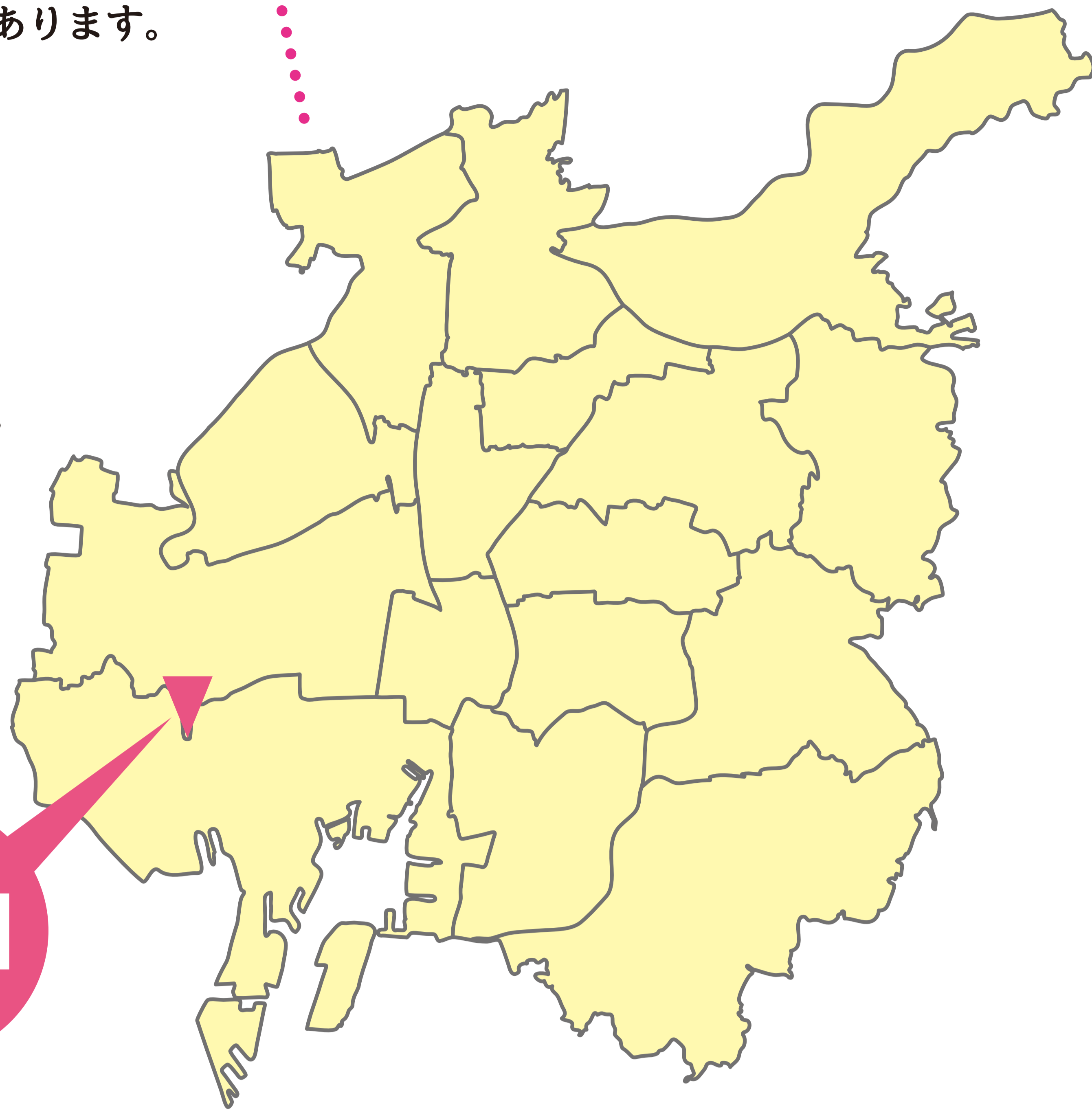


# 下之一色

## 出荷部

### しものいっしき 下之一色は

- 名古屋市の南西部、庄内川と新川に挟まれた細長い三角形の街です。地元では略して「一色」と呼ばれることもあります。
- 昔から海に近かったこの街は、河口の漁師町として発展してきました。町並みは閑所<sup>かんしょ</sup>と呼ばれる狭い路地が入り組んだノスタルジックで、名古屋から遠く離れた海沿いの田舎町に來たような錯覚を起こさせます。



### 下之一色の歴史

1768年(明治5年)

庄内川の改修により、庄内川東岸であった下之一色村は西岸となる。江戸時代末期、この地域は犬山藩領、尾張藩領であった。

1889年(明治22年)10月1日

町村制施行により、下之一色村が成立する。

1917年(大正6年)7月6日

町制施行し、下之一色町となる。

1937年(昭和12年)3月1日

名古屋市に編入され、名古屋市南区の一部となる。

1937年(昭和12年)10月1日

名古屋市の区が再編され、旧・下之一色町は新設された名古屋市中川区の一部となる。

### 主な農産物

#### パセリ



11月  
~3月

パラマウント系の昔から受け継がれた品種で色鮮やかなものである。

#### 枝豆



6月  
~7月

ハウス栽培に取り組まれ、甘みがあり非常に美味である。

#### 春菊



11月  
~2月

鍋物には欠かせない野菜で風味が良い。

#### 水耕みつば



1年中

水耕栽培ハウスで年間栽培される。日本のハーブとも呼ばれる。